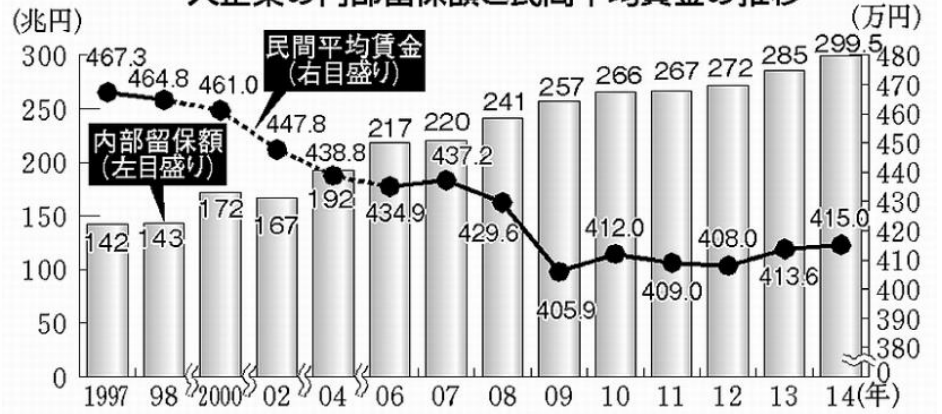


# 切り捨てられてきた社会保障制度

		消費税導入以前 (1988年度)	現在 (2015年度)
医療	サラリーマン本人の窓口負担	1割	3割
	高齢者の窓口負担(外来)	定額(800円)	1割または2割または3割
	国民健康保険料(1人平均)	56,372円	93,203円(2014年度)
年金	厚生年金の支給開始年齢	60歳	65歳
	国民年金保険料(月額)	7,700円	15,590円
その他	介護保険料(65歳以上)	なし	5,514円(全国平均)
	障害者福祉の自己負担	応能負担(9割は無料)	定率1割負担
	公立・公営保育所の個所数	13,657(88年10月)	9,525

(出典：厚生労働省等資料から)

## 大企業の内部留保額と民間平均賃金の推移



(注) 内部留保額は『2016年国民春闘白書』、民間平均賃金は国税庁「民間給与実態統計調査」から

売り上げから賃金や原材料費を賄い税金も納めた残りが内部留保です。内部留保の1%を雇用(年収300万円、1年間雇用)に回しただけでも主要企業131社で、合計47万5000人の雇用創出が可能です。実際には非正規雇用化などで賃金を抑制しているのに、財界いなりに法人税を減税しても、その恩恵はため込みに回るだけです。暮らしに消費税など負担増を押し付け、大企業を潤すだけの法人実効税率をさらに引き下げるとは、暮らしをますます大変にし景気回復も見込めません。

## ～ 地方政治の目的は、そこに住む人の無事を守ること ～



保育園落ちたの 私だ  
 特養落ちたの 私だ  
 保育士やめたの 私だ  
 授業料払えないの 私だ  
 年金下がったの 私だ  
 政治を選ぶのは 私だ

りがさん  
 かわら版



【1年に思う】

この一年、疾風怒涛の日々でした。私も向かい風に翻弄されましたが、県行政も県議会も大いに翻弄されていたらと確信しています。

少しは風通し良かったですでしょうか。

みなさんの応援があったからこそこの1年と、感謝の気持ちでいっぱいです。

毎日ほど県議会へ通い、それも、ほんとに多くの資料を抱えながらの毎日。

キャスターランクへ資料を詰めて電車に乗れば、「どちらへお出かけですか？ 視察ですか？」と声をかけられました。「いや、資料が多くてね…」と。

キャスターはついていても県庁下の坂道と階段は、ますます二の腕を逞しくしてくれるとともに、闘争心を強く強くしてくれました。

さあ、2年目に入ります。さらに、風を吹かせ！ 火を熾せ！！ 山本りか

困ったときは **まずは相談を...**

ご意見お寄せください